

りは、
りと
と

文献12

。四方の君子幸いにこれを恕せよ。『企及』はぬ、せのびしても届かないが、さ
工の苦衷が惻々として伝わってくるようではないか。

『解体新書』挿尾に追補されたのは、そもそも何の故なのか。何故そこにあるのか。
なるほどクルムスの本以外からも『解体新書』に絵は採られたが、それにしても全ページがクルムス以外というの
はこれだけである。わたしが思うには手の絵だからである。あるいは同じ伝で、もうひとつの身体端末たる足の絵
だからである。

